

令和5年度第2回 番組審議会議事録

令和6年2月15日

玉島テレビ放送株式会社

1. 開催年月日 令和6年2月9日(金)
19時～20時10分
2. 開催場所 玉島テレビ放送株式会社役員室

3. 委員の参加

委員総数：8名 参加：7名

出席委員の氏名

委員長	三宅 真一
委員	井上 全悠
委員	河原 素
委員	神崎 恵子
委員	北原 映子
委員	中田 裕一
委員	原田 理絵

玉島テレビ放送株式会社側の出席者

専務取締役	猪木 直樹
制作部部长	二宮 丈晴
制作部課長	佐藤 慎一
技術部課長	滝澤 伯龍
制作部	小山 紘明

4. 今後の番組審議会運営について

番組審議会として最終的に今後の方向性を答申という形で出して頂き、玉島テレビとして対応策の実施や番組の質の向上に努めさせて頂くこととした。

5. 前回頂いた御意見について

「子どもたちがテレビに映ると視聴する機会が多いが、子どもが育ち、大きくなるとテレビから離れてしまう」という御意見について、私達玉島テレビは老若男女全ての人に観てもらおうための番組作りを念頭に考える必要があります。

子どもを中心とした番組作りや、地域のお店を紹介する番組、子育て世代の集いの場や活動団体の紹介、環境・防災など、あらゆるニーズに応える番組作りに力を入れていく必要性をより強く感じました。

積極的に子どもを画面に出していくことについては、テレビに映ることが良いか悪いかといった所が課題になっておりますが、可能な限り問題をクリアしながら対応して参ります。

6. 議 題

【「船穂テレビ局」「黒崎テレビ局」「玉島西テレビ局」「玉島東テレビ局」「玉島北テレビ局」について】

<議題の意図>

日頃から玉島テレビのスタッフが地域を西から東へ奔走し、様々なニュース取材を行い「たまテレニュース」として毎日放送しています。しかし、その頑張りが効果的に表れていない現状があります。又、インターネットの普及によりテレビ業界では視聴率が低下する傾向にもあります。

その状況を打破するため、ケーブルテレビ局の強みであるローカル色を活かし、玉島・船穂を5つの中学校区に分け、その学区の話題のみを扱う、地元の話に特化した番組をそれぞれ企画致しました。住んでいるその学区の番組しか視聴して頂けないのではないか？という不安もありましたが、結果を見ると思いの外そのような事も無く、現状はむしろそちらの方が面白いと考え番組制作を進めています。今後は更にローカル色を強め、最終的にはその学区の番組が放送されている日しか視聴しないとなっても良い、という覚悟を持って現在取り組んでいます。

これらの番組を視聴して頂いた感想・ご意見を頂きたいと思っております。

<委員意見> 【船穂テレビ局・黒崎テレビ局・玉島西テレビ局・玉島東テレビ局・玉島北テレビ局についての感想・御意見】

○視聴者が住んでいるその学区以外の番組は観ないのではないか？ということだが、自分の住んでいない学区の番組を観て他の学区の活動や出来事を知ることができるので、5つの番組に分かれているのは良いことだ

と思う。

- 話題のローカルさが刺さり、熱中してしまった。単純にローカル色のある番組が好きなので、普段のたまテレより更にローカルな内容はすごく面白かった。例えばその地区の一部の人しか知らない話題を取り上げるなど、これからより地域を掘り下げて欲しいと思う。
- 住んでいない学区の番組を観ると、よく知らない人・よく知らない場所が映っているが、そのシュールさがじわじわ来て面白い。爆発的に皆が観るかと言われると、そうなるまでには時間がかかる内容だとは思いますが、番組を続けることによってファンが増え、その学区の住民が情報の提供をしてくれるようになると思う。そこまで持っていくことができれば、もっと面白いことが増えていき、観る人を惹きつけてくれるようになるのではないかと思う。
- 12ch のたまテレニュースと比べ、学区ごとに内容が分かれているのでわかりやすい。ニュースでは取り上げないローカルな内容に触れてくれるので、住んでいる地区の活動の参考になる。面白味のある番組なので今後継続してもらえたらいいなと思う。地元の人が地元の取材をするというアイデアも好きで、もっと話題になるかなと思う。
- 普段あまり行くことのない地域の情報に興味がある。南浦小学校休校の話題についてはここまで少子化が進んでいるのかと驚いた。中学校の方で地域移行の話題も出てきているので、この5局を使ってでも地域の把握をしたいという気持ちがある。各地区のコアな部分も見ていきたいし、そこで紹介された所があれば行ってみたいとも思う。
- やはり地元の話は見てみたい。他の学区に関してもローカル中のローカルな話題は気になる。地域の話は地域の人とする番組というのは楽しみ。
- オープニング曲を各中学校の校歌にするのも面白いのではないか。校歌に限らず、その地区に馴染みのある曲を流すというのはその地区の人にとって興味があるのではないかと思う。
- 番組担当者の情報収集力が素晴らしい。アンテナを張る力があると個人的に思う。
- 担当の人に情報をタレコミする協力員がいても面白いと思う。
- 地元の人みんなが協力員になることができる。
- 違う地域だから見ない、という人はそういないと思う。逆に違う地域でやっていることを知り、自分の地域に情報が活かされるという流れになると思う。見ない人を気にせず進めて欲しい。
- ローカルになればなるほど地元の人が情報を提供しないと各番組の担当

者がローカルな情報を見つけることができない。

- 情報提供をする立場としては緊張するので、メールやLINEなど気軽に情報提供できる場があれば情報提供もしやすいと思う。また、番組を通して担当者やアナウンサーの素性が知れると、話しやすいし情報提供もされやすいと思うので、地域の方々にアピールをしてほしい。

<委員意見>【その他玉島テレビ放送への御意見】

- 「たちまちドキュメント！なりゆき」について、番組を観ながら視聴者がツッコミを入れて盛り上がる番組はいい。地元の人が他の地元の人を紹介し繋いでいくという企画も面白いのではないか。
- 大学生の息子がいるが、日ごろは中々たまテレを観ない。しかし番組を観て地元の話題があれば盛り上がるし、そこから会話が生まれるのでよかった。企画としてはうまくいってなかったが、そのぐだぐだ感も含めて面白かった。
- 情報提供について、「情報提供」というと重いイメージがあるので、気軽に情報提供できる環境を作ってほしい。情報の軽さ（些細なことでも良いか）や提供の方法（電話・メール・ホームページ）など。

6. 次回の議題

- 【「第69回備南たましまロードレース大会総集編」及び「ローカルクイズ！みんなdeつなたま」】

7. 次回の開催予定

- 日時：令和6年5月10日(金)19時より
- 場所：玉島テレビ放送役員室

以上